

観点別評価テスト

解答

- 1 (1) ①
(2) ③
- 2 (1) ものの個数や順番 など
(2) 気温の前日との比較 など
(3) 長さや重さの比較 など
- 3 (1) ① $-\frac{3}{4} < -\frac{2}{3}$
② $-\frac{2}{3} < -\frac{1}{2} < \frac{1}{4}$
(2) $-3, -2, -1, 0, 1, 2, 3$
(3) ① 0
② 1.73
- 4 (1) ① $(1000-5x)$ 円
② $\frac{5a+3b+c}{a+b+c}$ 点
③ $xyz \text{ cm}^3$
(2) ① 1
② -12
- 5 (1) 13
(2) -2
(3) $-\frac{2}{9}$
(4) -6
(5) 2

解答と解説

解説

- 1 (1) 交換法則や結合法則は、具体例で確かめておこう。
- 2 (2) テレビや新聞などに出てくる数値には、正の数・負の数が使われることがあるので、よくみてみよう。
- 3 (1) ① $-\frac{9}{12} < -\frac{8}{12}$
② $-\frac{8}{12} < -\frac{6}{12} < \frac{3}{12}$
(2) 4, -4 はふくまない。
(3) ① 符号をつけたまま考える。
② 符号をとって考える。
- 4 (1) ① 品物5個の代金は $5x$ 円
② 得点の合計は $(5a+3b+c)$ 点
人数の合計は $(a+b+c)$ 人
③ (直方体の体積) = 縦×横×高さ
(2) ① $(-3)^2+2 \times (-3)-2=9-6-2=1$
② 式を簡単にすると、 $4a$ になる。
- 5 (1) $10+11-8$
(2) $(-1) \times (-2) \div (-1)$
(3) $\frac{1}{4} \times \left(-\frac{1}{3}\right) \times \frac{8}{3}$
(4) $12+2 \times (-9)$
(5) $8 \times \frac{1}{3} \times \frac{3}{4}$

解答

- 6 (1) $8x-6$
(2) $-7x+18$
(3) $4x-\frac{14}{3}$
(4) $-\frac{1}{15}x-\frac{4}{5}$
(5) 0
- 7 (1) $+3 \text{ kg}$
(2) -2 m
(3) 7%の値下げ
(4) -5 と 5
(5) 0
- 8 (1) ① $2xy^2$
② $\frac{2(a-b)}{3}$
③ $7a-\frac{b}{9}$
(2) ① $3 \times x \div y$
② $7 \times x - y \div 7$

解説

- 6 (1) $2 \times 4x + 2 \times (-3)$
(2) $3x + 3 + 15 - 10x$
(3) $10 \times \frac{2}{5}x + 10 \times \left(-\frac{7}{15}\right)$
(4) $\frac{1}{3}x - 0.4 - 0.4x - 0.4$
(5) $10x - 30 - 2(2x + 3x - 15)$
 $= 10x - 30 - 2(5x - 15)$
 $= 10x - 30 - 10x + 30$
- 7 (2) 78 m は 80 m より 2 m 低い。
(3) 数の符号を変えて、ことばの意味を逆にする。
(4) 絶対値が 5 である数は正の数と負の数の2つある。
(5) 「 -3 小さい」は「3 大きい」と考える。
- 8 (1) 文字の混じった乗法では、記号×をはぶく。文字と数との積では、数は文字の前に書く。文字の積では、文字をアルファベット順に並べることが多い。同じ文字の積は、累乗の指数を使って表す。文字の混じった除法では、記号÷を使わずに分数の形で書く。
② $(a-b)$ のかっこはつけたままにする。